

令和6年12月5日

地域振興課  
担当：山田  
内線：3685  
直通：076-225-1335

## 令和6年度石川地域づくり表彰受賞団体の決定等について

本県では、地域づくり活動の一層の活性化を図るため、住民主体で先進的な地域づくりに取り組んでいる団体・個人を知事表彰することとしております。

このたび、今年度の受賞者を次のとおり決定しましたので、お知らせします。

※本表彰は平成9年度から開始し、当初は隔年で実施、平成21年度から毎年実施。

### 1. 受賞者

団体部門	大賞	白山瀬波の会（白山市）
	優秀賞	金沢城・兼六園研究会（金沢市）
	奨励賞	五間堂まち創造倶楽部（能美市）
		一般社団法人ラタスクラブ（金沢市）
個人部門	國分 谷彦 氏	

### 2. 審査について

市町からの推薦があったものについて、石川地域づくり表彰審査委員（谷本互座長、以下4名で構成）による書類審査及び審査委員会を実施し、先進性・独自性、継続性、発展性、自主性、協働性・連携性、効果、その他アピール点の7つの観点から審査した上、受賞者を決定しました。

### 3. 主催及び後援

主催：石川県

後援：石川県市長会、石川県町村会、石川地域づくり協会

### 4. 表彰状授与式

日時：令和6年12月7日（土）13時～（約40分）

会場：中能登町社会福祉センター 1階ホール（中能登町末坂9-43）

石川地域づくりシンポジウム「いしかわ地域づくり円陣2024」の席上にて

# 令和6年度石川地域づくり表彰 受賞者概要

## 団体部門

### 【大賞】（1団体）

○白山瀬波の会（平成28年3月設立、白山市）  
会長 西原 秀幸（にしはら ひでゆき）

#### <活動概要>

- ・白山市瀬波地区の住民を中心に、キャンプ場の再生支援、登山道の復活、歴史的価値ある遥拝所跡地の整備、国内最大規模ともいわれる規模のカタクリ群生地再生、白山市天然記念物「桂の木」保護、炭釜の復活などを行っている。

#### <評価ポイント>

- ・稼働しなくなった自然体験施設の再整備と再活用から交流人口の拡大、雇用創出につなげた取り組みを評価したい。
- ・地域外からの来訪者増加で希少生物の再認識と保護にもつながる。活動は地区単位ではあるが、拡がりのある結果と考えられる。
- ・人口が減少したとしても、手が入り続けることで、里山の価値が高まるという素晴らしい活動。YAMAPでの掲載によって、多くのファンが訪れるようになり、自然との共生を象徴する場を守っている。

### 【優秀賞】（1団体）

○金沢城・兼六園研究会（平成3年4月設立、金沢市）  
会長 木下 一夫（きのした かずお）

#### <活動概要>

- ・城下町金沢を象徴する文化財である金沢城・兼六園を愛するボランティア団体として、市民目線からみた金沢城・兼六園の魅力について、管理者である行政とも協力しながら、新しい視点からの研究（金沢城と兼六園研究発表文集『きくざくら』の発行）・発信等を行っている。

#### <評価ポイント>

- ・会員の自己研鑽・探究心が根底にあり、相互に交流しながら、個々と団体による研究、講座、学習会、講師派遣など精力的に行っている。
- ・定期的に会員が供給されるしくみができあがっており、重要な石川県の資源である兼六園を発信するという役割を果たしていることが、大きなインパクトを生んでいる活動。
- ・活動が1つの形として堅固な構造となっている。研修のOBの方の再度学び深めて、交流していく場である。きちんとしたスケジュールでの活動スタイルに見える。

## 【奨励賞】（2団体）

- ①五間堂まち創造倶楽部（令和4年4月設立、能美市）  
会長 澤田 信春（さわだ のぶはる）

### <活動概要>

- ・能美市五間堂町において、住民同士が連携しあって、町内のランドマークとなっている花壇を活用した電飾事業を展開している。今年で3年目を迎える活動となり、地域活動として定着しつつある。

### <評価ポイント>

- ・ランドマークづくりと地域のアピールにつながっている点を評価したい。地域愛の伝承と担い手育成に重層的に寄与している。
- ・子どもたちのための自主的な活動であり、コロナ禍をきっかけにしながらも、子どもたちが参加する場もつくりながら、将来的にまちに関わる「まちづくり教育」としての効果もあると思われる。
- ・コロナ禍以降での子供たちの活動への支援は意義がある。

- ②一般社団法人ラタスクラブ（令和3年4月設立、金沢市）  
代表理事 中川 亨（なかがわ とおる）

### <活動概要>

- ・海洋環境の現状や課題について環境講座や映画上映会、ワークショップなど様々な活動を通じて広めている。世界農業遺産「能登の里山里海」など、豊富な海洋資源があり、海洋環境の保全が強く求められる石川県の地域特性を活かした取り組みを行っている。

### <評価ポイント>

- ・「海洋環境」という専門的な分野に独自性と魅力がある。精力的に各地に赴いて事業や講座を多数実施する点を評価したい。
- ・普及と啓発、啓もう活動に重点がおかれて実績として多いし、期待も大きい。県内からさらに県外への波及も期待される。
- ・南極行動という特殊な経験をもとに、足元への情報提供という働きかけをしている。

## 個人部門

國分 谷彦 氏(能美市)

### <活動概要>

- ・平成10年に自身が代表を努める団体「タント演劇学校」を設立し多世代・団体間交流を行っている。能美市の歴史調査や取材を通して、歴史や歴史的人物に基づくオリジナルの脚本を作成し、演劇の公演を行っている。

### <評価ポイント>

- ・歴史的資源（秋常古墳など）を題材にしたオリジナル作品をチームで創作して上演。また、近年は不登校の若者を受け入れ、演劇を通して心のケアと交流につながる体験を行うフリースクールのような機能も担っている。
- ・演劇を通じて、多様な主体がつながるきっかけを作っていることが高く評価できる。好きなことを中心に置いて、地域のためにできることを長く続けるという、これからの地域づくりにとても大切な視点を与えてくれている。
- ・30年以上の活動実績を有し、その間、能美市内の歴史文化の普及啓発を通じて同市のPRに貢献している。

令和6年度  
石川地域づくり協会シンポジウム

いしかわ **地域づくり**

# engine 円陣 2024

参加者募集  
申し込み制  
11/29(金)締め切り  
定員100名

今回の円陣では、東日本大震災、熊本地震・熊本豪雨、能登半島地震・奥能登豪雨を経験し、被災地に寄り添った生活復旧・復興支援と、その後につながる地域再生に取り組むキーパーソンが登壇します。日常的な地域内コミュニティと地域外との交流が結びつくことで、災害時においても助け合いと地域の持続的発展につながることを、そのためにどのような点が普段から重要なのか、会場の皆さんと一緒に考えます。

#### 地域づくり円陣とは？

石川地域づくり協会が毎年開催しているシンポジウムです。地域を思う人たちが集まって円陣(えんじん)を組み、地域づくりの原動力(エンジン)をパワーアップさせます。

## 地域の底力と災害支援力 ～互助と交流の関係性～

令和6年 **12月7日(土)** 13:00～18:00  
中能登町社会福祉センター

#### パネルディスカッション

### 大災害を乗り越えてきて

岩手・熊本・能登で被災し、  
自らの分野で支援活動を続けるキーパーソンに聴く。

パネリスト：菊池 新一さん(岩手県遠野市)

認定NPO法人「遠野 山・里・暮らしネットワーク」会長

本田 節さん(熊本県人吉市)

農家レストラン&農泊「ひまわり亭」代表 / 「リュウキンカの郷」代表

辻屋 舞子さん(石川県中能登町)

農家民宿「喜屋(よるこびや)」代表

コーディネーター：濱 博一さん(石川県七尾市)

石川地域づくり協会コーディネーター

#### グループディスカッション

全体会

交流会

開催日時：令和6年12月7日(土) 13:00～18:00(受付12:30～)

「石川地域づくり表彰」授賞式 / 「地域づくりコーディネーター」委嘱状授与式 /  
パネルディスカッション / グループディスカッション / 全体会 / 交流会(17:00～)

会場：中能登町社会福祉センター

石川県鹿島郡中能登町末坂9-43 TEL.0767-74-1234(中能登町総務課)

対象：地域づくりに取り組んでいる方、興味や関心がある方

参加費：無料 ※交流会(17:00～)のみ有料。参加費2,000円(当日集金)

主催：石川地域づくり協会、石川県

後援：中能登町

協力：石川県内の地域づくり団体のみなさん

石川地域づくり協会に所属する運営委員とコーディネーターが企画と運営を担当します。

被災地の住民の方と大学生の交流の場「青空カフェ」



被災地での物資配布の様子

12月7日(土)  
プログラム

- 12:30 参加者受け付け 開始  
 13:00 開会  
 13:10 「石川地域づくり表彰」授賞式 (受賞団体の発表と活動紹介)  
 「地域づくりコーディネーター」委嘱状授与式  
 13:50 オリエンテーション～有意義な参加に向けて～  
 14:00 パネルディスカッション  
**大災害を乗り越えてきて**  
 岩手・熊本・能登で被災し、自らの分野で支援活動を続けるキーパーソンに聴く。  
 15:30 グループディスカッション/全体会  
 16:50 閉会  
 17:00 交流会  
 ※参加費 2,000円 (当日集金)

合同開催

第5回いしかわ地域づくり復興塾  
「わがまちプラン・復興プラン」  
中間発表会

## 〔パネリスト紹介〕



## 菊池 新一 さん (岩手県遠野市)

認定NPO法人「遠野 山・里・暮らしネットワーク」会長

20年以上にわたり、遠野の人の魅力、暮らしぶり、伝統文化等を活用したグリーン・ツーリズム、産地直売所、農村民泊、移住支援などの事業を实践。平成23年の東日本大震災では、被災地からの情報発信や物資輸送の後方支援拠点を担う。復興が長期化している被災地で暮らし、仕事、見守り、コミュニティの支援を続けている。



グリーン・ツーリズム。最近はサイクリングの人気の高い



## 本田 節 さん (熊本県人吉市)

農家レストラン&農泊「ひまわり亭」代表  
「リュウキンカの郷」代表

食を地域資源とした拠点「郷土の家庭料理 ひまわり亭」を開店。平成29年には、あさぎり町に「食・農・人 総合研究所 リュウキンカの郷」を開所し、次世代の農業農村を担う人材育成に情熱を注いでいる。熊本地震(平成28年)と熊本豪雨(令和2年)では、自らが被災しながらも、地域住民の「食」を支え続けた。



ボランティアキッチンカーで「食」を支援



## 辻屋 舞子 さん (石川県中能登町)

農家民宿「喜屋(よろこびや)」代表

福島県郡山市から夫の故郷である中能登町に地域おこし協力隊として移住。令和2年に田舎暮らし体験と郷土料理が魅力の農家民宿を開業した。移住希望者への移住体験のコーディネートや保育園留学など中能登町の事業とも連携。県内外からお客様が訪れることにより、交流人口と関係人口の拡大に貢献している。「いしかわ地域づくり塾」修了生。



令和6年8月の移住者交流会

## 〔コーディネーター〕

濱 博一 さん (石川県七尾市) 石川地域づくり協会コーディネーター

## 参加のお申し込み

- メール・申込フォーム・FAXのいずれかで「石川地域づくり協会事務局」までお申し込みください。お申し込みの締め切りは11月29日(金)です。
- お申し込みの際は、①お名前 ②所属 ③連絡先(電話番号・メールアドレス) ④交流会(「参加する」か「参加しない」かのどちらか)をお知らせください。

✉ chiiki1@pref.ishikawa.lg.jp

☎ FAX.076-225-1328

📱 QRコードから  
ホームページの申込フォーム

## お問い合わせ・連絡先



石川地域づくり協会 事務局 金沢市鞍月1丁目1 (石川県企画振興部地域振興課内)

TEL.076-225-1335 chiiki1@pref.ishikawa.lg.jp